

本 会 記 事

I. 平成 23 年度 第 1 回評議員会議事録

日 時：平成 23 年 11 月 12 日（土）14:00～17:00

場 所：東京大学農学部 中島董一郎記念ホール

評議員出席者：

阿久津克己, 荒瀬 榮, 有江 力, 築尾嘉章, 藤田佳克, 曳地康史, 廣岡 卓, 百町満朗, 石黒 潔, 石井英夫, 石川成寿, 伊藤進一郎, 岩井 久, 景山幸二, 加来久敏, 川北一人, 小泉信三, 近藤則夫, 久保康之, 桑田 茂, 森田健二, 中島 隆, 生井恒雄, 夏秋啓子, 夏秋知英, 根岸寛光, 西尾 健, 大島一里, 尾谷 浩, 佐野輝男, 白石友紀, 高橋英樹, 田代暢哉, 寺岡 徹, 土佐幸雄, 土屋健一, 柘植尚志, 對馬誠也, 露無慎二, 上田一郎, 吉川信幸, 難波成任会長, 奥野哲郎副会長, 畔上耕児庶務幹事

以上評議員 44 名（定数 52 名, 欠席：秋光和也, 雨宮良幹, 古屋廣光, 増田 税, 大木 理, 田中文夫, 豊田秀吉, 月星隆雄）

幹事出席者：

濱本 宏庶務副幹事, 大島研郎会計幹事, 齋藤憲一郎庶務幹事, 井上康宏庶務幹事, 宮田伸一庶務幹事

開会の挨拶（難波会長）

1. 審議事項

(1) 平成 24 年度功績者の推薦について（白石功績者推薦委員長）

名誉会員に佐古宣道氏, 永年会員に宇田川晃氏, 齊藤 泉氏, 但見明俊氏, 渡邊恒雄氏を推薦することが提案され, 承認された。

(2) 平成 24 年度学会賞・学術奨励賞・論文賞の選考について

1) 学会賞・学術奨励賞（難波賞選考委員長）

各賞の選考過程の説明の後に, 学会賞について次の 3 氏が推薦され, 承認された。（ABC 順）

瀧川雄一氏「植物病原細菌の同定と分類に関する研究」

植松清次氏「花き類, 野菜の病害の分類・同定と防除に関する研究」

吉川信幸氏「落葉果樹ウイルスのゲノム構造と機能に関する研究」

学術奨励賞について次の 3 氏が推薦され, 承認された。

(ABC 順)

三澤知央氏「北海道で発生した各種野菜の糸状菌病害の同

定と防除に関する研究」

佐々木信光氏「植物 RNA ウイルスの細胞間移行の分子機構に関する研究」

吉田めぐみ氏「麦類の赤かび病かび毒蓄積特性の解明とかび毒低減技術の開発に関する研究」

2) 論文賞（奥野編集委員長）

選考過程の説明の後に, 次の 2 編が論文賞候補として推薦され, 承認された。

Mitsuo Horita, Yasuhiro Suga, Atsushi Ooshiro, Kenichi Tsuchiya. Analysis of genetic and biological characters of Japanese potato strains of *Ralstonia solanacearum*. J. Gen. Plant Pathol. 76: 196–207 (2010).

Yoshiyuki Ebihara, Seiji Uematsu, Sakon Nomiya. Control of *Verticillium dahliae* at a strawberry nursery by paddy-upland rotation. J. Gen. Plant Pathol. 76: 7–20 (2010)

(3) 会則改正関連事項について

学会会則改正案件を含む以下の項目について, 8, 10, 11 月と 3 回行われた評議員アンケートの結果に基づいて作成された改正案をもとに審議が行われた。

1) 大会要綱の策定について

会則第 5 章（大会）に関して, 大会開催要項を評議員会で作成することが承認された。

2) 部会会則の公開について

会則第 7 章（会則）第 27 条に定める部会規則を各部会で整備の上公表することを, 総会に諮ることとなった。なお, 所属部会が明確でなかった長野県は関東部会に所属することが確認された。

3) 講演要旨作成規程の新設について

講演要旨の作成規程を新設することが承認された。

4) 評議員に関する規程の改正について

これまで他の選挙区へ転出した評議員に関する規程はなかったが, 残任期間を会長指名の評議員とし, 評議員会ならびに総会に報告する事が承認された。常任評議員の選出法について, これまでの慣例を正式に会則に明記することが承認された。

5) 若手対象の賞への推薦について

日本学術振興会賞・育志賞の候補者を学会より推薦することが提案され, 承認された。

6) 学生優秀発表賞の授賞規程について

学生優秀発表賞に関して, 口頭発表を対象とすること, 事前に選んだ専門性の高い委員により審査すること, また,

大会委員長が審査委員の選出と賞の授与を行うことが承認された。

7) 学会費の見直しについて

会則第2章(会員)に示される会費の年額について、永年・名誉会員を除く65歳以上の全正会員の会費を現行の10,000円から5,000円とし、和文誌を送付し、JGPPはweb閲覧だけとすることが承認された。大学学部生の年会費は、現行では大学院生と同じく5,000円であるが、1,000円のweb閲覧のみ可能な会員を選択することも可能とすることが承認された。

8) 学会傘下活動による成果の和文誌レビュー掲載について

日本植物病理学会傘下にある各研究会・談話会・教育プログラムなどの活動に、その内容をもとにする総説を依頼し、日植病報に掲載することが提案され、承認された。

9) 関連2学会に加入の会員会費について

植物防疫関連3学会(日本植物病理学会、日本農薬学会、日本応用動物昆虫学会)に重複して加入する場合、2つ目3つ目の学会への加入の際に割引を受けられるweb会員制度を設けることが承認され、他の2学会と協議に入ることになった。

10) 外国会員の会費について

外国会員の会費の支払いは、これまではドル建て(\$80)と円建て(9,000円)のいずれも可能であったが、円建てで9,000円に統一することが承認された。

11) 賛助会員の広告掲載について

広告掲載企業について、50,000円/年を1口として賛助会員とみなすことが承認された。また、賛助会員の口数に応じて広告掲載可能とする提案が承認された。

(4) 委員会等の見直しについて(難波会長、奥野副会長)

100周年を迎えるに当たり、学会が直面している「会員数の減少」「学界を取り巻く環境の変化」「電子情報化」などに対応するため、財務委員会、情報電子化委員会を統合し、「将来問題検討委員会」を設置することが提案され、承認された。

2. 報告事項

(1) 評議員選挙結果の報告(阿久津選挙管理委員長)

平成24～25年度評議員選挙結果が報告された。

(2) 平成24年度副会長・会計監査選挙結果の報告(阿久津選挙管理委員長)

平成24年度副会長選挙と平成24～25年度会計監査選挙の結果が報告され、副会長には百町満朗氏、会計監査には有江力氏、夏秋啓子氏、根岸寛光氏が選出された。百

町満朗次期副会長候補より挨拶があった。

(3) 平成23年度大会・部会報告(畔上幹事長)

東日本大震災のため中止になった平成23年度大会について、また、各部会の開催状況について報告があった。

(4) 平成23年度研究会・談話会開催報告(畔上幹事長)

大会とともに中止になったEBC研究会ワークショップと殺菌剤耐性菌研究会シンポジウムが10月18～19日に東京農業大学グリーンアカデミーホールで合同開催された。また、第5回植物病害診断研究会が10月31～11月1日に青森市民ホールで開催された。

(5) 編集委員会報告(奥野編集委員長)

JGPPにインパクトファクターがついたことにより海外からの投稿が増えているが、同時に受理率が低下していることについて報告があった。

(6) 次期編集委員会について(大島次期編集委員長)

次期編集委員会の体制について報告があった。

(7) 教育プログラムについて(奥野教育プログラム推進委員長)

平成24年度第8回教育プログラムは、愛媛大学農学部で9月3～7日に開催される予定であることが、西口正通氏から報告された。平成25年度の開催地は関東の予定であり、当該常任評議員(難波成任氏、有江力氏)より受諾する旨表明があり、有江氏に調整して頂くことになった。

(8) 技術士対応委員会・5学会技術士育成推進委員会について(難波会長)

10月13日に東京大学農学部で開催された5学会技術士育成推進委員会の報告がなされた。同委員会では、平成24年度開催予定の「技術士試験対策セミナー」においても5学会会員の相互乗り入れを認めることが確認された。技術士・農業部門・植物保護の合格者は延べ45名となったことが報告された。技術士試験合格者が集まり話し合う目的で第1回「植物保護士会議」が、11月1日に植物病理学会東北部会・植物病害診断研究会の際に開催される予定であることが報告された。

平成24年度の技術士試験対策セミナーは、3月29日に福岡国際会議場で開催予定であることが報告された。

(9) 3学会会長懇談会について(難波会長)

9月12日平成23年度3学会会長懇談会が開催され、大会日程が他の学会と重ならないように、次年度以降は3学会で事前に連絡を取り合うことなどが話し合われた。しかし、この時点で既に応用動物昆虫学会と完全日程が重なっていることが判明し、以後さらに検討を重ねることとなった。

(10) 科研費細目大改訂について(難波会長)

平成25年度科研費公募から適用される「系・分野・文

科・細目表」の改正について説明があった。

(11) 日韓合同シンポジウムの準備状況について（露無日韓合同シンポジウム準備委員長）

これから掲載予定の平成24年3月27日開催の第2回日韓合同シンポジウムの2nd circularの内容について確認された。主催者である日本から、より多くの会員に参加して頂くよう呼びかけられた。

(12) 平成24年度大会（福岡）の準備状況について（土屋平成24年度大会委員長）

大会準備状況と日植病報第4号に掲載予定の「大会のお知らせ」等について説明がなされた。

(13) 学会100周年記念事業について（難波実行委員長）

5月22日と11月12日に委員会が開催され、その審議結果について報告があった。

(14) 会員管理システムの更新について（畔上幹事長）

3学会共同で使用する会員名簿システムを早急に更新する必要がある、11月9日に開催された3学会の実務者の打合せにおいて討議し、引き続き検討中である旨報告があった。

(15) 植物保護科学連合について（畔上幹事長）

日本植物保護科学連合が7月15日に設立され、連合規約が決定された。また、同日、名古屋大学において、日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会と共催で公開シンポジウム「食料生産から生物多様性を考える」が開催された。

(16) 会員のご逝去

24年度に逝去された会員を悼み全員による黙祷がなされた。

(17) その他

- ・露無国際対応委員長より、日豪の学生交流が平成23年に初めて実施され、日本から2名の学生が派遣された、学会からそれぞれ約15万円（1,500豪ドル）の支援が出たこと、来年はニュージーランド、オーストラリアのいずれかから受け入れることが報告された。
- ・畔上幹事より、植物病名目録に追録を加えたCD-ROMを、会員への還元として準備中であり、速やかに日植病報と共に発送予定であることが報告された。
- ・畔上幹事長より、日本農学会で「東日本大震災の復興に対する農学の役割」ワーキンググループが立ち上げられたことが報告された。
- ・畔上幹事長より、中止になった平成23年度大会の返金状況について報告があった。23年度大会の寺岡委員長から、返金未請求者に対して24年度大会時に申請があれば返金する旨の提案があり、了承された。

II. 平成23年度第1回日本農学会運営委員会議事録

日時：平成23年3月3日（木）15時30分～16時40分
場所：東京大学農学部3号館4階大会議室

出席者：大熊幹章会長、磯貝彰副会長、三輪睿太郎副会長、河鱈実之／立石 亮（園芸）、土田志朗（実農）、窪野高徳（樹医）、中嶋正敏（植調）、石橋整司（森計）、伊藤純一（育種）、八田珠郎（応糖科）、石川幸男（応動昆（代））、加藤 茂（海水）、桑山岳人（家禽）、松村一膳（砂丘）、磯田昭弘（作物）、嶋田 透（蚕糸）、渡邊寛明（雑草（代））、内田和幸（獣医）、桑田 茂（植病）、濱田奈保子（水産）、石川尚人（草地）、伊藤 弘（造園／森立（代））、山内啓太郎（畜産）、長谷川晃久（動遺育）、大谷 卓（土肥）、入江憲治（熱農（代））、横山 仁（気象（代））、日高真誠（農化（代））、高垣美智子（農作）、米山弘一（農薬）、杉浦幸二（繁殖）、中嶋康博（フード）、大倉利明（ペドロ）、五十嵐圭日子（木材）、牧野義雄（農機／生環（代））、川越義則（農施）、中村典裕（農情）、立花 敏（林経）、黒住圭子（事務局）

欠席者：堀田紀文／白木克繁（砂防）、吉迫 宏（シス農）、野々村賢一（育種）、廣野育生（魚病）、三簾久夫（国地開）、山下修一（芝草）、桑原正貴（獣医）、仁多見俊夫／篠原健司（森林）、大久保範聡（水産）、酒井久治（水工）、柳井重人（造園）、小澤壯行（畜産）、柳澤修一（土肥）、妹尾啓史（土微）、河野恵伸（経営）、納口るり子（経済）、吉田修一郎／中嶋 勇（農村工）、八木洋憲（農計）、信田 聡（木質）、渡辺敦史（林育）

議長：大熊会長

議題：

1. 新役員・常任委員交代について
2. 平成23年度第1回日本農学会評議員会報告
3. 平成23年度（第82回）日本農学大会準備状況
4. 平成23年度シンポジウム準備状況
5. 出版関連準備状況
6. 平成24年度シンポジウムについて
7. その他

配布資料：

1. 平成22年度第3回運営委員会議事録（案）
2. 平成23年度第1回評議員会議事要旨
3. 平成22年度会計書類
4. 平成23年度（第82回）日本農学大会プログラム（案）
5. 平成23年度日本農学会シンポジウム実施（案）
6. 平成22年度日本農学会シンポジウム成果概要出版に

ついて

7. 平成24年度日本農学会シンポジウムテーマ募集
8. 平成23年度日本農学会役員一覧
9. 常任委員割り当て表

議事1. 常任委員交代について

今期常任委員の紹介・挨拶があった。

大熊幹章会長，磯貝彰副会長，三輪睿太郎副会長，石橋整司／山内啓太郎（庶務担当），窪野高德／立石 亮（企画担当），中嶋正敏／西山 真（会計担当）

議事2. 平成23年度第1回日本農学会評議員会報告

石橋庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

日本農学賞の対象は個人であるということを知りやすくするために，細則推薦書を変更した旨説明があった。

事務委託については4月より契約することで承認された旨報告があった。

中嶋会計担当常任委員より資料に基づき22年度決算報告，および事務委託費を含んだ23年度予算について説明があった。

議事3. 平成23年度（第82回）日本農学大会準備状況

石橋庶務担当常任委員より，資料に基づき説明があり了承された。今年は会場が変更，弥生講堂で開催の旨改めて報告があった。

議事4. 平成23年度シンポジウム準備状況

窪野企画担当常任委員より実施案・プログラム（案）について説明があり了承された。概要の文言について質問があり，企画委員の方で検討し報告することとした。

議事5. 出版関連準備状況

石橋庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

4月5日日本農学大会に合わせ出版。購入検討のお願いがあった。

来年度のシンポジウム概要出版も常任委員会で検討し，例年通り刊行する方向であるとの説明があった。

議事6. 平成24年度シンポジウムについて

立石企画担当常任委員よりテーマ募集について3月末に加盟学協会事務局へ依頼することに関しての説明があり，多くの学会からの提案をお願いした。

その他

- (1) 平成23年度役員，常任委員割り当てについて

役員一覧表について，訂正等があった場合は事務局へ連絡いただきたい旨の依頼があった。

常任委員割当表で今後の常任委員学協会の確認をした。

- (2) (財)農学会への事務委託について

大熊会長から事務委託について，今月23日の(財)農学会の理事会・評議員会で承認されれば4月1日から契約となる旨の報告と契約にいたるまでの経過説明があった。

事務委託契約によって日本農学会の事務は正式に東京大学弥生講堂にある(財)農学会の事務室で行われることとなり，それに伴って会計上の処理が若干変更される旨説明があった。今後は，仕事を進めながら問題があればその都度双方で話合って進めて行くとの説明があった。

- (3) 法人化について

今後常任委員会を中心に，日本農学会が法人化する意義などから漸次検討していく旨説明があった。

- (4) 役員一覧表について

石橋庶務担当常任委員から，役員改選が4～5月に行われる学会が多いので，変更になった場合は事務局に連絡してくれるようお願いがあった。

ホームページは随時更新。新しい名簿は9月の運営委員会で配布する旨説明があった。

III. 平成23年度第2回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成23年9月5日（月）15時00分～16時00分

場 所：東京大学弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

出席者：大熊幹章会長，磯貝彰副会長，三輪睿太郎副会長，河鱈実之／立石 亮（園芸），堀田紀文（砂防），吉迫 宏（シス農），窪野高德（樹医），中嶋正敏（植調），石橋整司（森計），高橋輝昌（森立），伊藤純一（育種），北村義明（応糖科（代）），岩淵喜久男（応動昆），加藤 茂（海水），桑山岳人（家禽），嶋田 透（蚕糸），嶺田拓也（雑草），桑原正貴（獣医），畔上耕児（植病），篠原健司（森林），濱田奈保子／大久保範聡（水産），伊藤 弘（造園），山内啓太郎（畜産），長谷川晃久（動遺育），大谷 卓（土肥），妹尾啓史（土微），真田篤史（熱農），横山 仁（気象（代）），江川 章（経済（代）），佐藤雄一郎（農化），浅見忠男（農薬（代）），杉浦幸二（繁殖），中嶋康博（フード），小崎 隆（ペドロ（代）），五十嵐圭日子（木材），川越義則（農施／農機（代）），中村典裕（農情），黒住圭子（事務担当）

欠席者：白木克繁（砂防），土田志朗（実農），野々村賢一（育種），廣野育生（魚病），三簾久夫（国地開），松村一膳（砂丘），磯田昭弘（作物），山下修一（芝草），内田和幸（獣医），仁多見俊夫（森林），酒井久治（水工），安永円理子（生環），石川尚人（草地），柳井重人（造園），小澤壯行（畜産），柳澤修一（土肥），河野恵伸（経営），西山 真（農化），高垣美智子（農作），吉田修一郎／

中嶋 勇 (農村工), 八木洋憲 (農計), 信田 聡 (木質),
立花 敏 (林経), 渡辺敦史 (林育)

議長: 大熊会長

議題:

1. 平成 23 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について
2. 平成 23 年度 (第 82 回) 日本農学賞授与式の報告
3. 平成 23 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について
4. 平成 24 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦および平成 24 年度日本農学会評議員会について
5. 平成 24 年度常任委員担当学会について
6. 東日本大震災への取り組みに関するアンケートの報告
7. 東日本大震災に関する日本農学会の活動について
8. 平成 24 年度シンポジウムテーマについて
9. その他

配布資料:

1. 平成 23 年度第 1 回運営委員会議事録 (案)
2. 平成 23 年度日本農学賞・読売農学賞授与式概要報告
3. 平成 23 年度日本農学会シンポジウムプログラム (案)
4. 平成 23 年度日本農学会シンポジウム案内 (配布用)
5. 平成 23 年度日本農学会シンポジウムポスター配布内訳
6. 平成 23 年度日本農学会シンポジウム成果概要出版目次
7. 平成 22 年度シンポジウム成果概要出版
「農林水産業を支える生物多様性の評価と課題」チラシ
8. 平成 24 年度シンポジウムテーマ
9. 平成 24 年度日本農学賞推薦依頼・推薦書類一式
10. 平成 24 年度評議員会開催案内
11. 日本農学会役員一覧
12. 平成 24 年度常任委員割当て表
13. アンケート結果報告
14. 東日本大震災に関する日本農学会の活動について

議事 1. 平成 23 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について

石橋庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事 2. 平成 23 年度 (第 82 回) 日本農学賞授与式の報告
石橋庶務担当常任委員より東日本大震災により今回は授与式のみ行った経緯と報告があった。

議事 3. 平成 23 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について

窪野企画担当常任委員より今回のシンポジウムは急遽震災・原発関係も取り入れることになり 3 月に承認いただいた内容に若干の変更があった旨説明があった。また、テーマ提案の日本ベドロジー学会会長の小崎先生から趣旨と経緯のお話があった。準備状況、広報活動および成果概要出版について説明があり、了承された。

10 月 8 日のシンポジウムへの参加のお願いがあった。

議事 4. 平成 24 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦および平成 24 年度日本農学会評議員会について

石橋庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。推薦依頼は 9 月 2 日に加盟学協会にはメールにて送信済み。多くの学会から推薦頂きたい旨依頼があった。推薦締切は 11 月 25 日。評議員会は来年 1 月 20 日。来年度は会長・副会長の選挙がある旨説明があった。

議事 5. 平成 24 年度常任委員担当学会について

石橋庶務担当常任委員より資料に基づき常任委員の担当について説明があり、来年度の常任委員が確認された。

また、常任委員を担当する年に運営委員が交代になるケースがこれまでも見られたが、運営委員の経験のない人がいきなり常任委員を担当することは負担が大きくまたスムーズな学会運営のためにもマイナスであるので、常任委員を担当する予定の学会は委員の選出にあたり配慮して欲しい旨の依頼があった。

議事 6. 東日本大震災への取り組みに関するアンケートの報告

石橋庶務担当常任委員よりアンケート集計資料について説明があった。

議事 7. 東日本大震災に関する日本農学会の活動について

石橋庶務担当常任委員より資料に基づき今後日本農学会の活動について説明があり下記の 3 つの活動が了承された。

1. ホームページを活用した情報交換の促進 (担当 西山常任委員)
2. 日本農学会シンポジウムの企画 (担当 立石常任委員)
3. ワーキングの設置 (座長 三輪副会長 担当 山内常任委員)

ワーキング設置について座長の三輪副会長より、ワーキンググループで議論を深め日本農学会としての現時点での方向性を示したい、これまでも震災問題に積極的に対応していただいている砂防学会、日本海水学会、日本森林学会、日本水産学会、日本畜産学会、日本土壌肥料学会、日本農業経済学会、農業農村工学会、農村計画学会はぜひワーキングに参加いただきたい、また、他の学会からも積極的に参加いただきたい旨の依頼があった。

大熊会長からも委員の選出については改めてメールでお

知らせするので協力して欲しい旨の依頼があった。

議事8. 平成24年度シンポジウムテーマについて

立石企画担当常任委員より資料に基づき、4学会よりテーマの提案がありいずれも東日本大震災に関するテーマであった旨の説明があった。常任委員会で検討した結果平成24年度のシンポジウムテーマを「東日本大震災からの農林水産業の復興に向けて」(仮題)として準備を進めていきたいとの提案があり了承された。

今後企画委員会を編成して準備を進めるが、テーマ案を出していただいた日本雑草学会、日本土壌肥料学会、日本木材学会、林業経済学会には企画委員を受けていただきたい、また他の企画委員については今後常任委員会で検討して関係学会へ依頼するので協力して欲しい旨の依頼があった。

その他 常任委員割り当てについて

日本育種学会より担当割当て表では、日本育種学会は続けて常任委員を担当することになるが、順番を替えてもらうような配慮をしていただけるのか質問があった。現時点ではすでに計画している通りに担当していただく予定であるが過重な負担を強いることは本意ではないので次期の常任委員会以降で検討していく旨回答された。